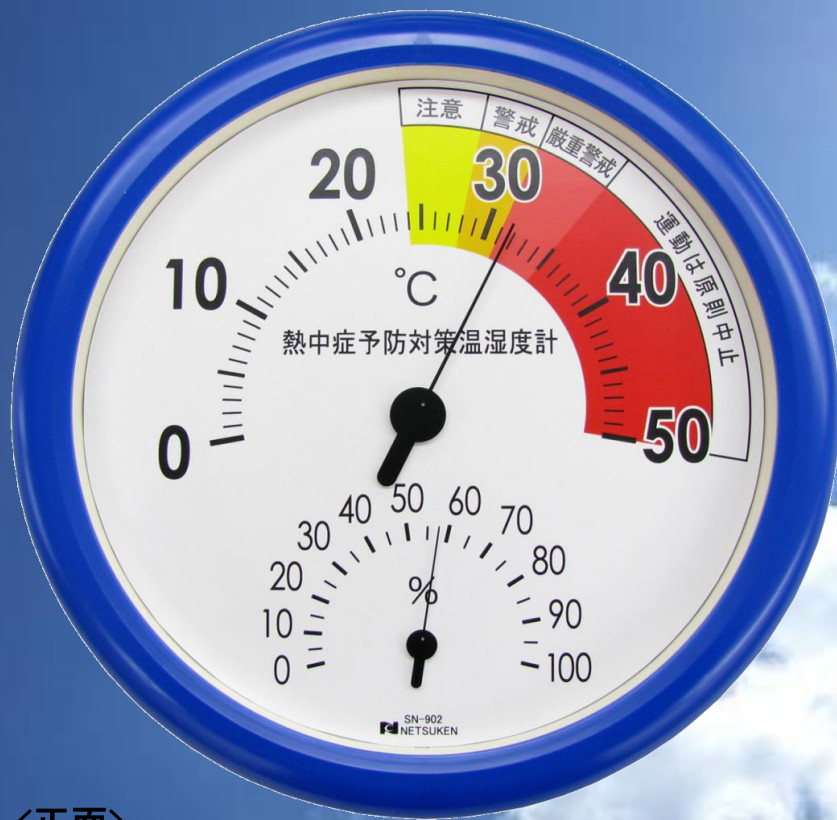


一目でわかる ”熱中症の見張番”



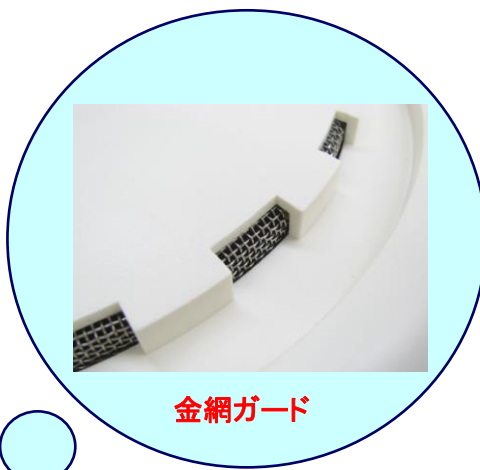
温度・湿度に気を配り
いち早く危険を察知しよう



熱中症の被害を減らしましょう

熱中症予防対策温湿度計は、温度・湿度の変化を常にキャッチし、温度(気温)は℃、湿度は相対湿度で%で表示し、注意・警戒・嚴重警戒・原則運動中止をわかりやすく色分けしてありますので、目安として環境条件の状況判断ができます。是非本製品を活用されて熱中症の予防にお役立てください。

<正面>



金網ガード

<裏面>

安心のご案内

安心 その1

・見やすい大型パネル採用で、誰でも簡単に判断基準を得られます。

安心 その2

・アクリル製のフロントレンズなので、誤って落下させてもガラスのような危険がありません。

安心 その3

・裏面は金網でガードされているので、虫の侵入を防ぎます。

熱中症予防対策温湿度計
型番 : SN-902

標準価格

7,000円(税抜)

まとめ知識

熱中症とは・・・

熱中症とは、体の中と外の“熱さ”によって引き起こされる様々な体の不調の事とされています。熱中症を未然に防ぐ為には、気温のみならず、湿度や輻射熱の条件も考慮されると共に、その環境に応じた運動の強度、適切な休息と水分補給、当日の体調、発汗量や体温の上昇に注意を払う必要があります。

このうち、気温や湿度などの環境温度を評価するには、WBGT(湿球黒球温度)(ISO7243 JISZ8504)を用いるのが有用とされています。これは気温、湿度、輻射熱の三つを取り入れた指標で以下の計算式で算出しています。

屋外で日射のある場合・・・

$$WBGT = 0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{乾球温度}$$

屋内で日射のない場合・・・

$$WBGT = 0.7 \times \text{湿球温度} + 0.3 \times \text{黒球温度}$$

なお、黒球温度計がない場合は湿球温度、もしくは乾球温度を測定しますが蒸し暑い時には、湿球温度が指標として適当です。

製品仕様

品名	熱中症予防対策温湿度計	
型番	SN-902	
測定範囲	温度 0～+50℃ 1目盛 1℃ 湿度 0～100% 1目盛 5%	
精度保証範囲	温度 0～+50℃ ±2℃以内 湿度 35～85% ±5%以内 (周囲環境 20～25℃において)	
区分表示	温度 +24～+28℃ 『注意』 (気温) +28～+31℃ 『警戒』 +31～+35℃ 『嚴重警戒』 +35～+50℃ 『原則運動中止』	
材質	リングケース … スチロール樹脂 フロントレンズ … アクリル樹脂 バックケース … スチロール樹脂 防虫用金網 … スチール	
寸法・重量	300Φ × 41 (mm) 750g	
付属品	取扱説明書 (取付金具は付属していません)	

オプション

SN-902-10 ボールガード

標準価格 5,000円 (税抜)



熱中症予防対策ガイドライン

※スポーツ活動の例

気温(参考)	WBGT温度	運動に関する指針
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止
31～35℃	28～31℃	嚴重警戒 (激しい運動は中止)
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休息)
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)
24℃まで	21℃まで	ほぼ安全 (適度に水分補給)

出典:(財)日本体育協会『熱中症予防のための運動方針』

※労働現場の許容基準例

WBGT温度	作業強度(許容)
32.5℃	極軽作業 RMR～1
30.5℃	軽作業 RMR～2
29.0℃	中等度作業 RMR～3
27.5℃	中等度作業 RMR～4
26.5℃	極軽作業 RMR～5

出典: 日本産業衛生学会(1982)

日本産業衛生学会が提唱する高温の作業基準

*1・・・RMRとはエネルギー代謝率のことで、運動の強さを表します。



株式会社 熱研

東京・埼玉・大阪

<http://www.netsuken.jp>

本社 東京都台東区元浅草3-19-9 〒111-0041

TEL 03-3845-1511 FAX 03-3845-1550

※このカタログの記載内容は2014年3月末日現在のものです。

※本カタログ記載の仕様、価格等はお断りなく改正・改訂することがありますが、ご了承願います。

ご照会・ご用命は下記へ